

情報公開文書

◆ 大腸がんの集学的治療に関する研究

1. 研究の対象となる方

2000年1月1日～2026年12月31日までに当センターで大腸がんの治療を受けた患者さん

2. 研究目的・研究の方法

大腸がんに関する手術単独治療の成績では、限界があり、進行大腸がん特に直腸がんにおいては、術前化学療法や術前放射線化学療法あるいは導入化学療法など多くの治療手段の検討が行われています。

当センターでは、カンファレンスにて治療方針をガイドラインにのっとった形で決めていますが、いまだガイドラインでは明確になっていない治療対象症例があり、集学的治療内容による手術成績の分析は、本邦においてますます重要になってきています。

術前治療の治療効果や手術合併症、術後の予後を含めた治療成績は今後の治療方針の決定や、治療方針の妥当性を確認する上で重要です。

術前治療、手術、術後治療を評価した上で、その治療成績、術前治療合併症、手術合併症治療成績、患者さんのQOL等の分析を行っていきます。

この研究結果は学会での発表を予定しています。

3. 研究に用いる情報の種類

情報；病歴、術前術後の治療内容やその効果、手術術式および予後など個人を特定しうる情報は明示しません。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター単独の臨床研究です。研究責任者は早田浩明（食道・胃腸外科）、研究分担者は鍋谷圭宏、外岡亨、桑山直樹、黒崎剛史、成島一夫。

5. 研究責任者

千葉県がんセンター食道・胃腸外科 早田浩明

6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

7. 研究の資金源および利益相反について

(Ver.5.0)

本研究は、研究費を使用した研究ではありません。

研究に関する利益相反は、当センターの利益相反委員会にて適切に管理されています。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています。

本研究は当センターの倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究への参加を希望しない時はご連絡ください。

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 早田浩明

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL 043-264-5431 (代表番号)